油屋町くんち瓦版

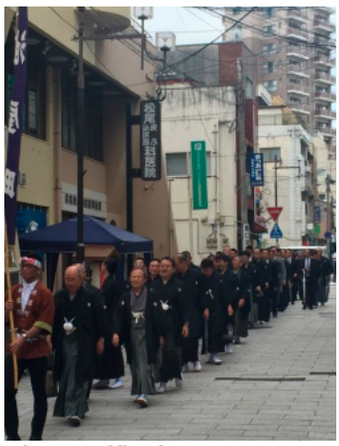
編集担当　山之内　宏一

平成28年6月20日

小屋入り無事に終わる

根曳が打ち込みで囃子を披露

平成二十八年六月一日七時、シャギリの音が油屋町に響いた。小屋入りの長い一日が始まった。八時二十分頃、野口自治会長宅の前には紋付袴姿の長采、采振、町内の関係者たち、背広を着た根曳たちが集まって来た。その中には船頭の真弓竜君の可愛い姿もあった。八時五十分、町旗を先頭に油屋町くんち関係者の行列が諏訪神社へ出発した。諏訪神社で清祓を受けた後、伊勢宮神社で拝礼し、八坂神社で清祓を受け、十一時三十分頃、油屋町に帰って来た。町内でみんなに弁当とお祝いの桃饅頭が配られた。午後の打ち込みのために、長采、采、根曳たちは昼食を早くに済ませ、着替えて、大太鼓、〆太鼓、鐘を持って、自治会長宅前に集まった。町内の人も袴から唐人パッチに着替えた。午後一時、他町の打ち込みを迎えるために町事務所に残る自治会長、総監督の前で、打ち込みの囃子（道行、油屋町川船根曳唄、奉納、走り、回し）が披露され、町内に響き渡った。その後、ぶら提灯を持った野口孝さんを先頭に町の人、長采、采、根曳の一行は油屋町を一周、踊り町、年番町、商工会議所計十四箇所の打ち込みに出発した。予定より早く商工会議所に着いたため、待ち時間がもったいないので、ルートを変更した。そのせいか、他町と何度か、すれ違った。また、予定に無かった中町の事務所にも打ち込みすることになった。予定通りいかない、いろんなことが起こる。これが「くんち」である。そして、それが、みんなの力でどうにかなる。これも「くんち」の醍醐味。みんなの頑張りのおかげで、今回は予定より一時間早く、午後五時前に油屋町に帰り着いた。



6月5日囃子の清祓！

8時30分、小雨の降る中、八坂神社に囃子の子供１２人、囃子担当、采振坂口さん、囃子担当根曳、総監督、油屋町関係者が集まった。集合写真を撮った後、９時３０分、皆んなで神殿に上がり、清祓を受けた。その後、油屋町公民館に移動した。今後の練習の説明や注意を受けた後、前回の油屋町川船のDVDを鑑賞した。お昼には子供達にお寿司や唐揚げなどご馳走が振る舞われた。関係者、親も一緒に食事し、親睦を深めた。

６月６日金光教屋上のスカウトルームで囃子の練習が始まった。囃子担当の根曳が楽器を運んで、６時30分から練習が開始された。担当楽器が決まった子供達は、まず、自分の担当楽器の近くで、根曳の道行の演奏を見た後、楽器の叩き方を教えてもらった。いよいよ、囃子の練習がスタートした。この子たちが川船のエンジンになるのだ。